

3つのテーマで発表します！

無意識を科学する

ひとはその行動のかなりの割合を無意識的にこなっています。本研究ではこれらの行動を観察し、心理学の立場から無意識を科学する試みを発表します。写真を撮られるときについてしまうしぐさや、階段を上り下りするときのくせ、または、自由に数字を選んでいる時にそこに現れる規則性や、知らず知らずのうちに他人の行動につられる特徴など、仙台駅周辺での実験・調査をまとめました。行動分析に基づいた無意識の世界を体験してください。

介護職員のココロ

人手不足といわれる介護職。一人一人の仕事の負担が重くなれば、事件・事故の危険も高まります。人手不足の理由の一つは離職率が高いこと。そこで、介護職員の方々にヒアリング調査を実施。ベテラン職員、新人職員の皆さんに、なぜその仕事を選んだのか、仕事のやりがい、ストレスに感じることなどを聞いてみると！？また、介護職に対するイメージ調査からも人手不足の理由を考えます。同じく人を支援する看護師や保育士の仕事のイメージとの違いとは！？どんな成果が得られたのか、詳しくは会場でご確認ください！

続・義援金を寄付する心理

本研究は、昨年度の続編です。昨年度に検討した「人は、なぜ義援金を寄付するのか？」に加え、今年度は「時間が経過すると、人は義援金寄付に対する意識が変わるのか？」についても、実際に義援金募集活動を行いながら新たな実験や調査を行い、心理学的な考察を試みました。その結果、昨年度と今年度とで意外な共通点と相違点が！？会場で、是非ご覧下さい！！

お問い合わせ 022-277-6491（担当：渡辺）

pb-info@mgu.ac.jp

ホームページ www.mgu.ac.jp/12pb